

トラックタイヤ空気圧監視システム

取扱説明書

重要事項：ご使用前に取扱説明書をよくお読みください。

マシンのパラメーターを変更するために、非特殊なビーズを使用することはお勧めしません。

このマニュアルの図は参考用です。

1 製品概要

このたびは、タイヤプレッシャーモニタリングシステムタイヤプレッシャーモニタリングシステム (TPMS) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このシステムは、運転中に追加の保護層を提供するように設計されています。

車のタイヤの状態を事前に知らせてくれます。

TPMS を搭載することで、システムはタイヤの空気圧と温度の状態をリアルタイムで監視できます。

異常なタイヤ空気圧と温度が検出された場合、システムはリアルタイムで警告を送信します

サウンドと明るい画面点滅アイコンでドライバーに知らせます。

リアルタイムのリマインダーとハンドリングの問題により、交通事故を防止し、

ドライバーと乗客の安全を確保します。

ワイヤレスタイヤ空気圧監視システムには、正しい取り付け方法が必要です

インストールマニュアルの手順に従って、資格のあるオペレーターによるシステムのインストール、

システムが正しく動作し、保証を提供できるようにします。

不適切な取り付けまたは分解によりセンサーを損傷した場合、製品保証は受けられなくなります。

2. 受信ホストの紹介

1. インターフェース・表示説明

1. 左ボタン
2. キーを設定する
3. 右ボタン
4. 太陽エネルギー
5. 温度単位
6. タイヤの空気圧
7. バー&プサイ
8. 温度
9. バッテリー

2. タイヤの順番

3. キー機能説明

USB充電ポート/受信機充電インターフェース

左ボタン/左スイッチメニュー (スタンバイモードでは、短押しで明るさを調整、長押しでオン/オフ)
設定キー/確認キー/電源オンキー (スタンバイ状態、短く押すと温度が表示され、長く押すとメニューモードに入ります)

右ボタン/右スイッチメニュー (スタンバイモードでは、短押しで明るさを調整し、長押しでアラームをオフにします)

3. 機能設定 (モデルのインターフェースが異なると異なります)

ユーザーは、自分の車両の状態や実際のニーズに応じてパラメーターを設定できます。

設定の変更がない場合、システムは工場出荷時の状態にデフォルト設定されます。

「メニューキー」を3秒間長押ししてシステム設定状態に入り、

ただし、ペアリング操作インターフェイスの長さは90秒です。

30秒以内に他のインターフェースで操作がない場合、

システムは自動的にメインインターフェイス状態に戻ります。

確認のない設定は保存されません。

(どのパラメータを設定しても、設定後、「メニューキー」を長押ししてメインインターフェイスに戻り

ます)

1. 空気圧単位の設定 (工場出荷時はbar)

スタンバイ状態で「設定キー」を3秒間長押しすると、システム設定状態になります。左上隅に **0** アイコンが表示されます。「設定キー」を押して、次に、左右のキーを押して **bar** と **psi** を切り替えます。

2. 温度単位の設定 (工場出荷時のデフォルトは °C)

スタンバイ状態で「設定キー」を3秒間長押しすると、システム設定状態になります。右ボタンを1回押しと、左上隅に**1**のアイコンが表示され、「設定キー」をクリックし、左右のボタンを押して温度単位を切り替えます。切り替え後、中央のボタンを押して確定します。

3. タイヤの上限と下限を変更する (工場出荷時のデフォルト値はモデルによって異なります)

スタンバイモードで「設定キー」を3秒間長押しすると、システム設定状態になります。右キーを **2** 回押しと、左上隅に **2** アイコンが表示されます。[設定キー] を押します。左右のキーを押して空気圧アラームの上限値を変更します。押しして確定します。

スタンバイ状態で「設定キー」を3秒間長押しすると、システム設定状態になります。右ボタンを **3** 回押しと、左上隅に **3** アイコンが表示されます。押しして確定します。

4. 温度上限設定

スタンバイ状態で「設定キー」を3秒間長押しすると、システム設定状態になります。右ボタンを **4** 回押しと、左上隅に **4** アイコンが表示され、「設定キー」を押して、左右のボタンを押して温度アラームの上限値を変更します。押しして確定します。

5. センサーの交換

まず、交換する必要があるセンサーを取り外します。電源ONの状態です。セットボタンを3秒長押しして設定に入り、次に左ボタンを **2** 回押しして **5** 番目の項目に入り、セット ボタンを押します。下の **0** が点滅するのを待って、左右のキーを押します。交換が必要な位置を選択し、中央のボタンを **1** 回押しします。もう一方の数字を点滅させます。交換するセンサーをバルブに取り付けます。数字の点滅が止まればアップデート成功です。どの設定状態でも、中央のボタンを長押しして設定を終了します。**5** 番目の状態では、任意のセンサーを任意の位置に割り当てることができます。元の位置を交換せずに交換できます。

6. 工場出荷時の設定に戻す

スタンバイモードで「設定キー」を3秒間長押しすると、システム設定状態になります。左ボタンを **1** 回押しと、左上隅に **6** アイコンが表示され、「設定ボタン」を**2**回押しします。工場出荷状態に戻ります。交換が必要なセンサーを先に取り外し、新しいセンサーに交換し、その後、工場出荷時の設定に戻します。マシンはセンサーを自動的に更新します (5・10分の運転が必要です)

7. 工場パラメータ

AN-07A: 上限空気圧 **8.0 bar** 下限圧力 **2.8bar** 上限温度 **75**

インストールに関する注意事項

外部センサーの取り付け。

最初に盗難防止ナットをねじ込みます

b. センサーを締める

c. センサーに対して反時計回りに盗難防止ナットをねじ込みます

d. センサーを締め、盗難防止ナットをレンチで反時計回りに締めます

センサー付き電池を交換する際は、一つ一つ分解して、アウターケーシングを取り付けます。

混合または分解して同時に取り付けしないでください。

センサーの置き忘れを効果的に防ぐことができます

ハウジングの組み立てミスにより、他のタイヤ位置に取り付けられました。

受信機が「センサーが低くなっています」と表示し、ディスプレイに **LO** 点滅警告が表示された場合。

対応するタイヤのセンサーバッテリーを時間内に交換してください。

(リチウム電池 **CR1632**、動作温度要件 **-30 C 80 C**);

ユーザーは製品ベンダーから購入できます。

1. センサーを取り外す前に、ナットレンチ、ナットを時計回りに回してナットとセンサーを分離し、センサーを反時計回りに取り外します。
2. 焼き付き防止リングを取り外し、レンチを使用してセンサー カバー ケースのネジを反時計回りに緩めます。
3. 古いバッテリーをバッテリー ホルダーから取り外し、環境保護の分類を適切に行います。
4. 正と負の位置を区別します (正の「+」が上向き)。新しいバッテリー **CR1632** を取り付けます。
5. センサーカバーのトップカバーをねじ込み、レンチで時計回りに締めます。

A センサー選択

B タンパーリングを外す

C トップカバーを

D 新しい電池を入れる

トップカバーを締める

タイヤをノズルに取り付ける

内蔵センサーの取り付けレンチ

TE